

「第2次江別市観光振興計画(案)」に対する意見募集の結果と市の考え方について

■意見の募集結果

募集期間	令和5年12月4日～令和6年1月5日
提出者数	2名
提出件数	3件

■意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況	件数
A	意見を受けて案に反映するもの	0
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	0
C	案の変更はないが、今後の参考等とするもの	2
D	案に反映しないもの	0
E	その他の意見	1
合計		3

令和6年1月 江別市経済部観光振興課

「第2次江別市観光振興計画(案)」に関するご意見一覧

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
1	江別市はいうまでもなく、札幌市の東側に位置する札幌のベッドタウンです。道外から来られる観光客の方は、札幌を基点として旅行プランを立てますから、札幌に着くと、まず西側の観光都市小樽に目がいくようです。 江別はベッドタウンの名のとおり、札幌で働いてきた人が寝にくる自治体といったイメージがあります。ただ、観光要素について見ていくと、煉瓦の生産高日本一、野幌森林公園といった大自然もあります。つまりポテンシャルがあるわけです。小樽市のように積極的に予算を活用していくことが望まれます。	観光のポテンシャルに関してのご意見につきましては、「第4章 江別市観光の目指す姿 1.江別市観光の概要」に記載のとおり、当市には様々な観光要素や、その活用の可能性があるものと考えております。より効果的な予算活用に努め、それらの資源を活かした観光施策を進めてまいります。	C
2	札幌市と市町村合併して200万都市にして地下鉄東西線が江別まで伸びたら交通利便増進できるのかな？と思ってましたが…。 札幌駅から江別駅まではJRの時間と本数が多いけど豊幌はまだその先でラッシュアワーを除いて昼間の時間帯は1時間2本体制で、市内の公共交通網が弱いと感じました。通う場所によっては駅から遠かったり交通が不便だったり。	市内周遊の利便性向上については、当計画の【基本施策6】市内周遊観光の促進の「二次交通の検討」のとおり、各取組を進めてまいります。なお、通勤、通学などの市内公共交通網の課題につきましては、地域公共交通に対するご意見として、関連部署と情報共有してまいります。	E
3	江別市は観光のイメージが薄いと感じました。 江別近郊の南幌温泉、ユンニの湯は過去に行きました。あの時は道民割で行きました。宿泊代金に買い物券が含まれて母と買い物して楽しみましたが…江別市が観光のインパクトを感じない…(汗) 江別市の印象として札幌のベッドタウンで、JRで片道約35分圏内ですが、学生が多くて札幌にある定山溪温泉や小樽市にある朝里川温泉、空知管内だとあまりホテルや観光資源を感じなかったです。 コロナもあり観光客が素通りして旭川の旭山動物園や富良野にあるラベンダー畑を楽しまれる方が多く感じ取れます。 ドラマ北の国からでも話題になり旭川、富良野は観光のイメージが強く感じますが江別を通過する印象を感じました。 市内の観光資源は、既に始まった…JR野幌駅前ホワイトイルミネーション、2月にはJR江別駅前で、エキテラが毎年、開催されて僕も見て来ました。 江別駅前を人で賑わう街にしたい気持ちが伝わります。下手に飲食店を開業したりするよりも期間限定でもホワイトイルミネーションが目玉になると良いという一人の意見です。	ご意見にもあります江別駅前イルミネーションの取組のように、当市には、「第4章 江別市観光の目指す姿 1.江別市観光の概要」に記載のような可能性を秘めた観光資源や魅力があるものと考えております。 江別市の魅力をより身近に感じ、より満喫していただけるよう掲げた観光像「訪れるたび 近くなるまち、えべつ」のもと、これらの観光資源を有効活用した観光施策を進めてまいります。	C

※ご意見につきましては、本計画(案)に関するご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおりに掲載しております。なお、掲載は受付順です。